

特性に合ったアプローチ

空気が読めない・・・



相手の気持ちや場の雰囲気やうまく察することができず、人とのかかわりに悩むことがあります。遠回しな表現は避け、具体的に伝えることが大切です。

読み書きが苦手



読むことが苦手な場合は、音声読み上げ機能を活用することがあります。書くことが苦手な場合は、パソコンを使うことで書く負担を軽減することができます。

感覚過敏



多くの人々が特に気にならない音や光でも過敏に反応してつらいと感じる人がいます。聴覚過敏のある人は、耳栓やイヤーマフを利用して苦痛を軽減していることがあります。

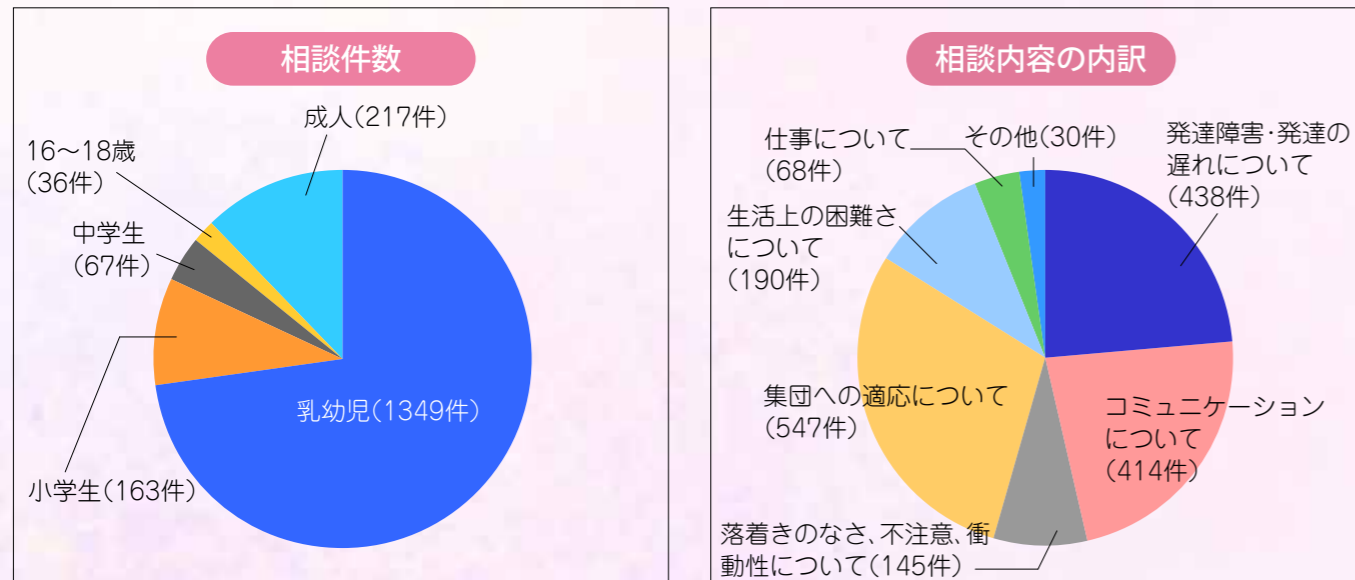


発達障害は、日常生活においてさまざまな困りごとがあるにもかかわらず、見た目ではわからない障害であるため、周りからは理解されにくいことがあります。発達障害の特性を理解し、だれもが生きやすい社会を実現していくことが求められています。

特集 『発達障害』ってなんだろう？

※現在は神経発達症と呼ぶこともあります。

発達支援センターへの相談状況（令和5年度）



発達支援センターでは、発達上の支援を必要とする人やその家族および関係者などを対象に一人一人の発達の状況に応じて、医療・保健・福祉・教育などの各関係機関と連携し、切れ目のない相談支援を行っています。

発達支援センターは、乳幼児期から成人期まで、どなたでも利用できます。

- 発達障害に対する社会的認知の広がりにより、近年では大人の相談が増えています。
- 令和5年度の相談件数は延べ1,832件で、そのうち乳幼児期の相談が約75%を占めています。
- 保健センターで行っている乳幼児健診や通園する園との連携により、早期発見・早期支援ができる体制を整えています。

発達障害とは？
 発達障害は、生まれつき脳の働きに偏りがある状態のことです。発達障害のある人は、コミュニケーションや対人関係が苦手で、その行動や態度は「自分勝手」や「変わった人」、「困った人」と誤解されることがあります。
 発達障害は、右図のとおり大きく分けて3つに分類されますが、複数の障害が重なって現れることもあります。障害の程度や年齢（発達段階）、生活環境などによっても症状は違ってきます。

「発達障害」の主な特徴は？
 主な特徴は、「人との関係づくりが苦手」「落ち着きがない」「忘れっぽい」「極端に音やにおいなどに敏感」「文字が読めるのに書けない」など、人によって異なります。
 また、ライフステージ（その人の年齢やおかれた環境）によって、困りごととは変化するため、ライフステージに合わせた対応が必要です。



発達障害の主な種類

自閉スペクトラム症 (ASD)

- コミュニケーションが苦手
- 対人関係・社会性に課題がある
- パターン化した行動
- 興味・関心の偏り
- 感覚の敏感さなど

知的な遅れを伴うこともあります。

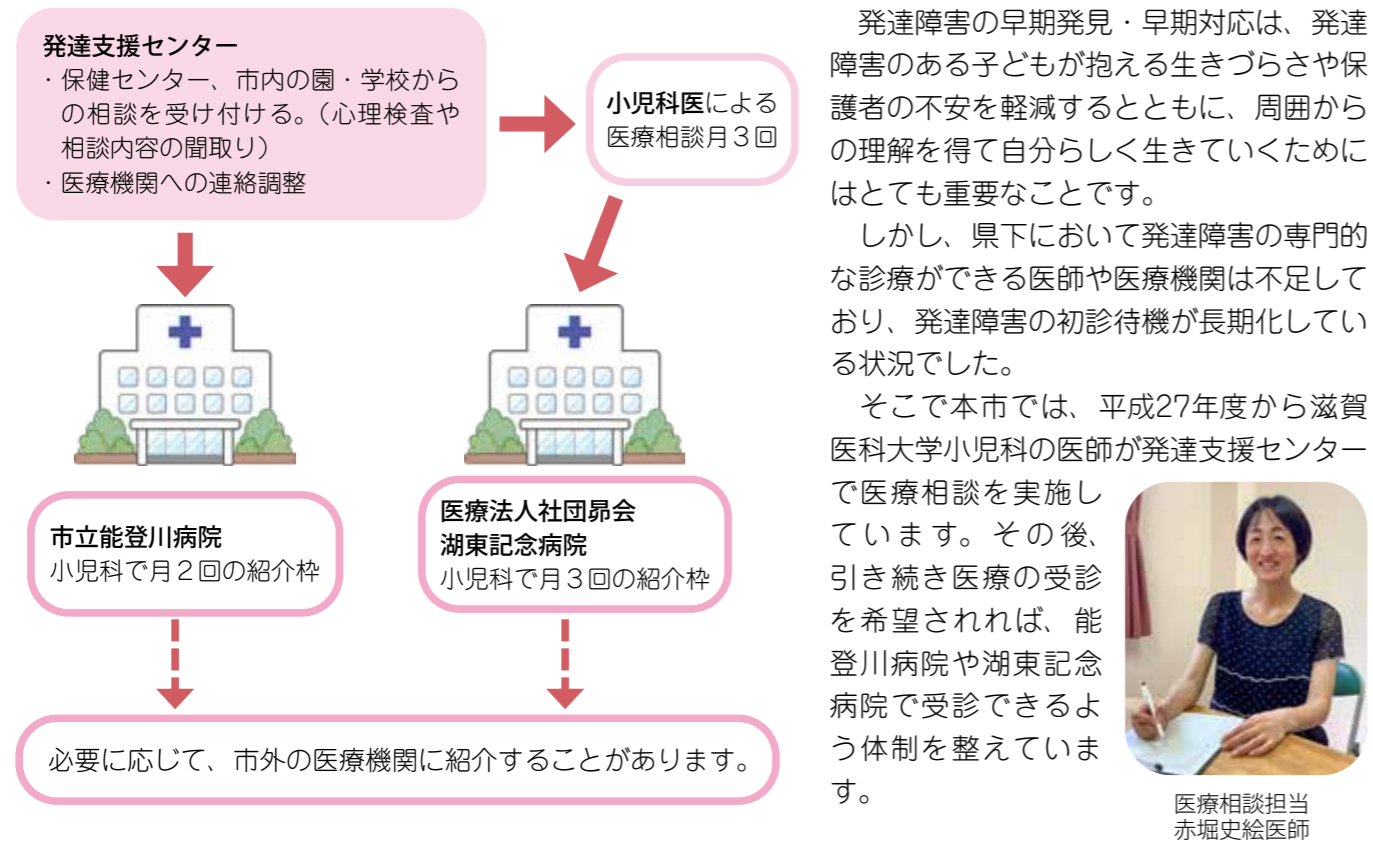
注意欠如多動症 (ADHD)

- 不注意（集中できない）
- 多動（じっとしてられない）・多弁
- 衝動性（考えるよりも先に動く）

限局性学習症 (SLD)

- 読む、書く、計算するなどの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

発達障害の医療相談・医療受診の体制



私たちに相談してください

相談者の悩みに寄り添いながら、個別に相談に応じます。また、必要に応じて各種心理検査も行っています。
(公認心理師・臨床心理士など)

子どもたち一人一人の発達状況に合わせた遊びを通して「できた!」を引き出す支援を行っています。保護者から子育ての相談も受けています。
(保育士、指導員など)

学校と連携し、学齢期の子どもの発達支援に関する相談に応じています。
(教員)

児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービスなどの障害福祉サービスに関わる利用計画の作成を行っています。
(相談支援専門員)



相談は予約制(無料)です。
電話または直接当センターに申し込んでください。
(土・日曜日および祝日を除く。)
市ホームページ
発達支援センター ☎050-5801-0664 ☎0748-22-5151



障害福祉サービス ～児童発達支援センター めだかの学校～

児童発達支援センターめだかの学校は、児童福祉法に基づき、家庭や通園する園で発達に遅れが見られる、集団生活が苦手、コミュニケーションが苦手など、発達に何らかの課題がある未就学児を対象とした通所による支援を行っています。

ここでは、それぞれの発達段階に応じて日常生活に必要なスキル(日常生活動作)を身に付けたり、コミュニケーションや集団生活への適応に向けた支援を受けたりすることができ、社会生活における困難さが軽減できるようになります。

また、同じような悩みをもつ保護者が集い、心理士と気持ちを共有しながら子育てについて考えます。発達や子育てに関する学習、就園や就学に関する情報提供のほか、教材づくりなどを行っています。



身体を使った活動を通してさまざまな感覚情報を調整し、子どもたちの意欲を高め、適応を図ります。



理美容院デビューをサポート

子どもたちが理美容院で散髪する際、「ハサミやドライヤーの音が怖い」「人に触られるのが苦手」「何をやるのかわからない」などの不安を軽減し、将来安心して散髪できるよう市内の理美容師ボランティアの協力を得て散髪にチャレンジしています。



散髪の流れをイラストにしたカードを見せることで、「次に何をやるのかわからない」という不安を軽減しています。

●ボランティアの声

髪の毛を切ることにこだわらず、子どもとふれあいながら和やかな雰囲気づくりを心がけています。めだかの学校での経験を経て、理美容院の利用につながった人もいます。



●利用者の声

無理に座らせず、遊ばせながら子どもの動きに合わせてカットしてもらえました。じっとし続けることが苦手な子を受け入れてもらえる美容師さんに出会えてホッとしています。

